

新型コロナウイルス感染症に関する アンケート調査

一社) 千葉県高齢者福祉施設協会

感染症対策特命チーム

2021年6月

目次

1. アンケート調査概要	1
2. 調査結果	2
Q1.新型コロナウイルス感染症の発生状況についてお伺いします	2
Q2.感染対策についてお伺いします	5
Q3.PCR 検査の実施状況についてお伺いします	8
Q4.コロナ陽性患者の退院後の施設受入れについてお伺いします	12
Q5.貴施設の面会状況についてお伺いします	14
Q6.コロナワクチン接種の進捗状況についてお伺いします	16
Q7.自由記載	24
3. まとめ (結果)	25
4. アンケートの公表にあたって (お知らせ)	26

新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査結果

1. アンケート調査概要

- 1) アンケート調査の範囲
千葉県高齢者協会 373 施設
- 2) アンケートの方法
Google フォームを利用し、会員にメールを送付し、オンライン上での回答を求めた
- 3) アンケートの期間
2021年6月2日～2021年6月11日 (10日間)
- 4) 回答数
144 施設/373 施設 (回答率 38.6%)
 - ◇ 養護老人ホーム 11/20 施設 (回答率 55.0%)
 - ◇ 特別養護老人ホーム 112/268 施設 (回答率 41.8%)
 - ◇ 軽費老人ホーム・ケアハウス 21/83 施設 (回答率 25.3%)
 - ◇ 小規模多機能・有料老人ホーム 0/2 施設 (回答率 0.0%)

2. 調査結果

Q1.新型コロナウイルス感染症の発生状況についてお伺いします

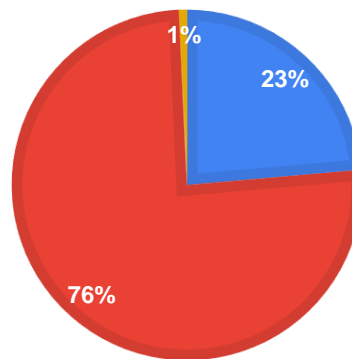
Q-1-1 貴施設においてコロナウイルス陽性者が発生したことがありますか？（従事者、入居者様等）

コロナウイルス発生施設は 34 件、全体の約 23.6% となっており、3/4 の施設は、感染者の発生がゼロの状況である。

項目	回答数	構成比
ある	34	23.6%
ない	109	75.7%
併設事業所にて発生あり	1	0.7%
計	144	0.0%

Q-1-1 コロナウイルス感染者の発生

■ある ■ない ■併設事業所にて発生あり



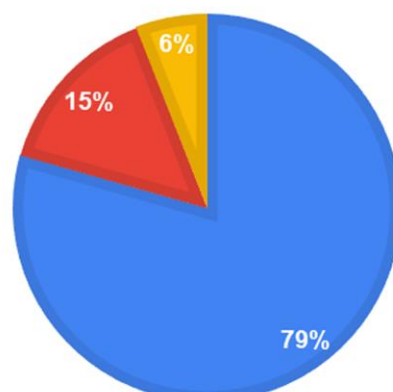
Q1-2（Q1-1で「ある」とご回答された方にお伺いします） その発生した回数をお伺いします(収束毎)

発生回数が 1 回の回答が最も多く、27 件で回答の 79.4%を占めている。2 回が 5 件 (14.7%)、3 回以上が 2 件 (5.9%) となっており、感染が発生した施設の 20%に再度感染が発生していることになる。

項目	回答数	構成比
1回	27	79.4%
2回	5	14.7%
3回以上	2	5.9%
計	34	100.0%

Q-1-2 陽性者の発生回数

■1回 ■2回 ■3回以上

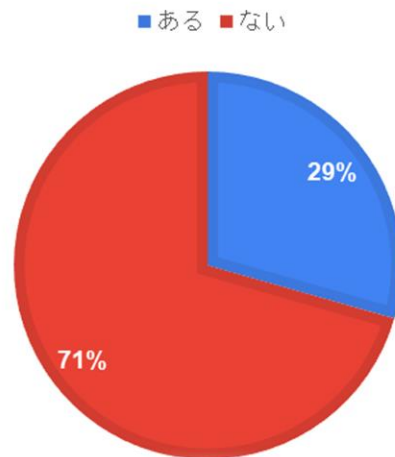


Q1-3 (Q1-1で「ある」とご回答された方にお伺いします) クラスター(感染者5人以上)が発生したことがありますか?

陽性者が発生した34件中、クラスターが発生したのは10件となっており、感染が発生すると、約3割近くにクラスターが発生している。
 クラスター発生10件は、回答施設数が144件なので、約7%の発生率となっている。

項目	回答数	構成比
ある	10	29.4%
ない	24	70.6%
計	34	100.0%

Q1-3 クラスターの発生

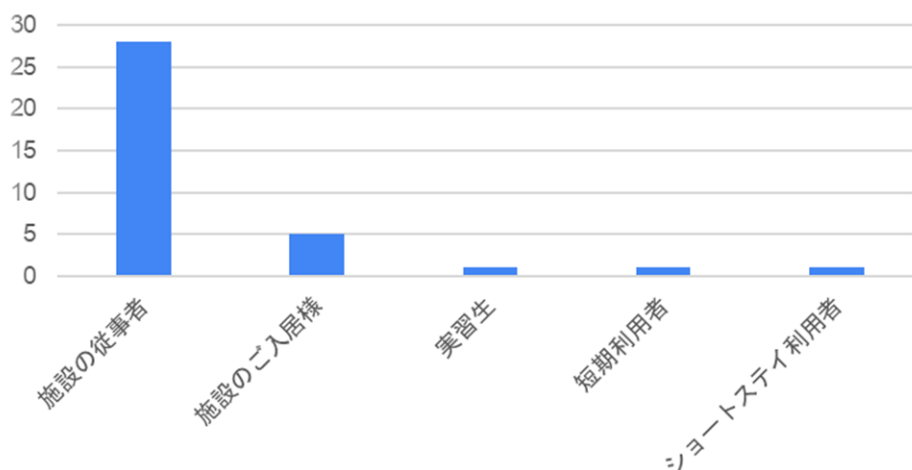


Q1-4 (Q1-1で「ある」とご回答された方にお伺いします) 1人目の感染が確認されたのは、どなたでしたか? (Q1-2の回答が2回以上の場合、複数回答可)

1人目の感染者の多くは「施設の従事者」で28件となっており、選択率は82.4%となっている。次いで、「施設の入居者」が5件となっている。

項目	回答数	選択率
施設の従事者	28	82.4%
施設のご入居様	5	14.7%
実習生	1	2.9%
短期利用者	1	2.9%
ショートステイ利用者	1	2.9%
計	36	

Q1-4感染が確認された者の種別

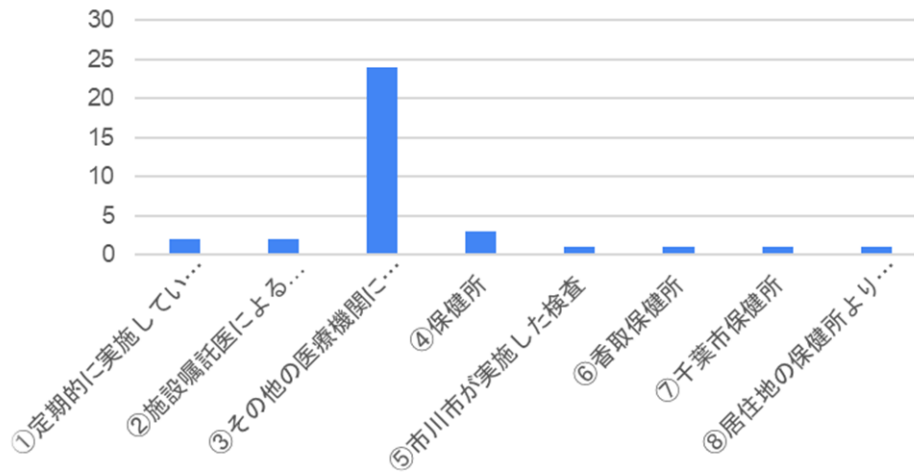


Q1-5 (Q1-1 で「ある」とご回答された方にお伺いします) 1 人目の感染が判明した PCR 検査等は、どこで行われましたか? (Q1-2 の回答が 2 回以上の場合、複数回答可)

35 件の回答中、「その他の医療機関による PCR 等の検査」が 24 件と最も多く、選択率は 70.6%となっている。
①の定期的検査による、陽性者の発見は、2 件、5.9%であった。

項目	回答数	選択率
①定期的実施している施設の従事者対象PCR検査	2	5.9%
②施設嘱託医によるPCR等の検査	2	5.9%
③その他の医療機関によるPCR等の検査	24	70.6%
④保健所	3	8.8%
⑤市川市が実施した検査	1	2.9%
⑥香取保健所	1	2.9%
⑦千葉市保健所	1	2.9%
⑧居住地の保健所より紹介された、医療機関	1	2.9%
計	35	

Q1-5 感染判明時のPCR検査実施機関



Q1-6 (全員にお伺いします) クラスターが発生した場合等、公衆衛生上の必要性に鑑み施設名が公表されることがありますが、そのような場合、同意をしますか? 又、ご意見がございましたら、「その他」にも記載をお願いします

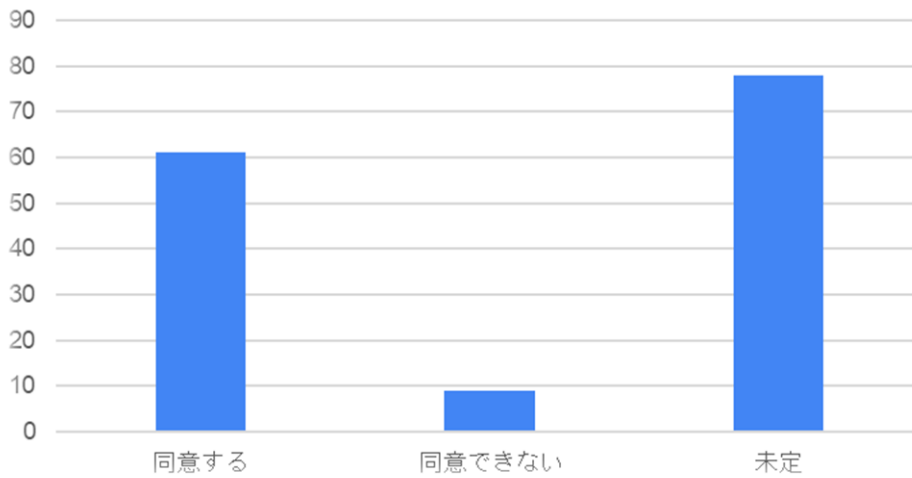
右記の表を再整理すると右下表のようになります。

「同意する」との回答が最も多く 61 件 (No.1.5.7) で、(選択率 42.4%) となる。また、回答で、「その時の状況による」(No.4) を「未定」と解釈すると、「未定」が 79 件と、「同意する」(61 件) よりも多くなり、選択率が 54.9%となっている。(次頁グラフ)

No	項目	回答数	選択率
1	同意する	59	41.0%
2	同意できない	8	5.6%
3	未定	27	18.8%
4	その時の状況による	50	34.7%
5	同意する。公表しないと隠ぺいしていたとご利用者、ご家族、関係機関があるため同意には賛成です。しかし施設に対する誹謗中傷、不要不急な問合せが多発する事案を聞いており、それに対する対応策、防止策を検討し実施することが必要と考えます。良い策がありましたらご教示ください。	1	0.7%
6	同意できない、施設名を公表する事でデメリットのみが生じる	1	0.7%
7	行政の判断によるものであり公表することを拒めますか?	1	0.7%
8	未定、法人判断となるため	1	0.7%
9	施設で判断ができるか不明(行政判断で実施されているため)	1	0.7%
	計	149	

項目	回答数	選択率	備考(再整理No)
同意する	61	42.4%	1+5+7
同意できない	9	6.3%	2+6
未定	79	54.9%	3+4+8+9
計	149		

Q1-6 クラスタ発生時の施設名公表



Q2.感染対策についてお伺いします

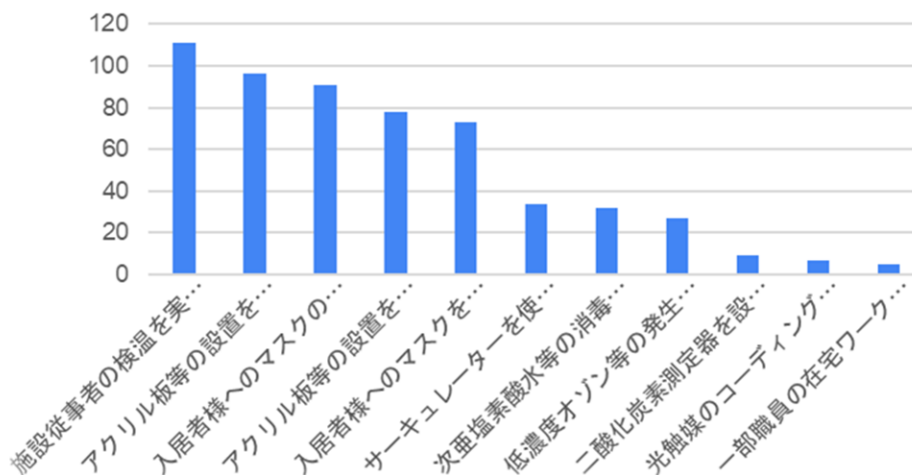
Q2-1. 感染対策についてお伺いします (複数回答可)

*実施率が100%に近いと思われる項目は、予め除外しています

最も選択率が高かったのが、「施設従事者の検温を実施(2回以上)*就業時間中」であり、選択率は77.1%。次いで、「アクリル板等の設置をしている(従事者、バックヤード)」が選択率66.7%、第三位が「入居者様へのマスクの着用を推奨している」の選択率63.2%となっている。

項目	回答数	選択率	順位
施設従事者の検温を実施(2回以上)*就業時間中	111	77.1%	1
アクリル板等の設置をしている(従事者、バックヤード)	96	66.7%	2
入居者様へのマスクの着用を推奨している	91	63.2%	3
アクリル板等の設置をしている(ご入居者様)	78	54.2%	4
入居者様へのマスクを施設が提供(施設負担)している	73	50.7%	5
サーキュレーターを使用している	34	23.6%	6
次亜塩素酸水等の消毒液の生成器の導入をしている	32	22.2%	7
低濃度オゾン等の発生器の導入をしている	27	18.8%	8
二酸化炭素測定器を設置している	9	6.3%	9
光触媒のコーティングを行っている	7	4.9%	10
一部職員の在宅ワークを行っている	5	3.5%	11
計	563		

Q2 感染対策



Q2-2 その他、感染症対策で工夫された取組みがあれば教えてください

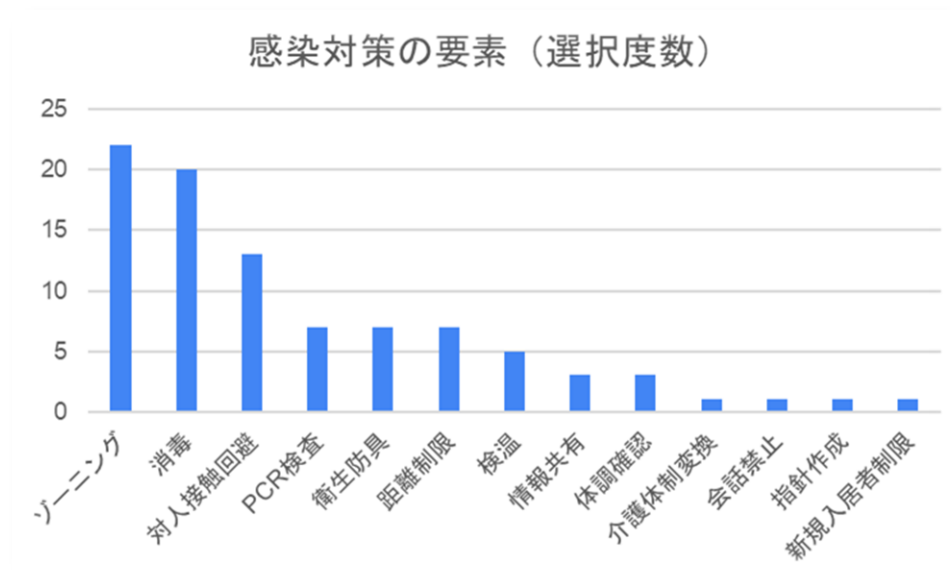
1	各事業所で区分けを行い、職員間の移動は最小限にしている。又ショートステイ・特養利用者が接触しないように入浴等の共有設備に関して使用時間を変える等の対策を行っている。
2	外部者の検温・新規入居者の一時停止
3	従事者等で発熱等の体調不良者がでた時には、検査結果を待たずに、その時点でゾーニングを行い介護体制を変換し対応しています。
4	特養・ショートステイ・デイサービスの利用者は同じ空間に居ることが内容に導線を考慮している
5	利用者様と直接介助するときはビニール手袋をつける（感染対策中は2重にした）
6	定時の喚起・消毒・従事者への体調確認・食事席（対面を避けている）
7	消毒を常備する
8	感染症対応マニュアルに即した予防策実施。県のPCR検査受検など
9	かんたんマイペットでの清掃
10	空気清浄器、時間帯で換気、会議などでソーシャルディスタンスを保ち、時間の短縮 共用部分の定期的な消毒、面会制限、訪問者の検温（調査票作成）、他の事業所からの移動を禁止（同法人内）
11	フロア等の移動を極力なくしております。職員の感染リスクが高いことから、職場内においても、委員会等をzoomで行う事もあります。 職員の休憩場所を分けており、不必要に重ならないようにしております。
12	通常の清掃に加え、①毎朝清掃を行っている。②家族、外来者面会制限や換気 ③PCR唾液検査等を行っている。 ④住診医との連携では24時間連絡、住診が出来る体制になっている。
13	食堂での食事分散化
14	職員行動指針の作成
15	面会の原則謝絶、職員のゴーグル着用
16	職員があまり交わらないよう、休憩場所の分散をしている
17	デイや居宅の職員との接触を、できる限り避けるようにしている。
18	定時の換気、消毒を実施している
19	感染予防のため、職員には休みの日であっても施設周辺地域（安房地域）以外への不要不急の外出、集団での食事会や集まりを控えるように指示しています。
20	従事者の食事場所を数か所設け、間隔を広く取れるようにしている。
21	食堂に関して、対面にならないように机を配置している。1日3回の換気を徹底している。
22	利用者は食堂のテーブル数を増やし、密にならないような配置。職員へは業務時、個人でアルコール消毒液を携帯させている。また、いたるところにアルコール消毒液の設置。 利用者は発熱やその他症状があった際には、感染対応（隔離対応）、職員、発熱等の症状出現時はマニュアルに沿った対応。
23	食堂が密になるので3か所分けて食事をする。
24	毎朝6時の体調確認、部署ごとの休憩室、居室ごとの食席、フロアごとの入浴、マンツーマン入浴、居室ごとの食席、併設事業所職員との接触禁止 など
25	陽性者が出た場合を想定したゾーニング訓練等
26	・家族の面会をオンラインで実施している。症状発生時の情報を共有し、早期対応出来るようにしている。 ・従業員の食事休憩時、ソーシャルディスタンス、会話時のマスク着用を実施している。
27	送迎車内の前席と後部座席のビニールカーテンの設置。
28	更衣室、休憩時間の使い方
29	全館定時換気、ロスナイ換気、出勤退勤時巡回アルコール消毒、全館定時次亜塩素酸消毒
30	出勤時及び居室などに入る際の靴底の消毒
31	1ヶア1手洗い・手指消毒・ドアノブや周辺機器の消毒等
32	顔認証温度検知システム自立式を2台設置
33	次亜塩素酸ナトリウム・アルコールを使用しての一斉消毒、施設内に新型コロナウイルス感染症者が出たときのゾーニング対策、プラスマクスターの導入
34	職員は常時アルコール携帯 感染症隔離室（空床）を用意
35	次亜塩素酸ナトリウム希釈液での消毒 換気 密にならないよう食事時間をずらしている
36	面会・外出・行動範囲制限 飲食の対面禁止 席毎に距離を取っている 手指消毒 密状態の回避 会食自粛 施設の衛生管理
37	面会・外出・行動範囲制限 会食禁止 環境整備の徹底
38	玄関、食堂、脱衣所に消毒液を設置。
39	ゲートコントロール
40	利用者の食事提供場所の分散
41	食堂・リビングに大型空気清浄機を設置
42	共有スペースの使用等方法等変更。
43	共有スペースの使用等方法等変更、密にならない対策を取る
44	食堂の座席を一方方向にしている。毎日、手すりやドアノブ、エレベーターのボタン等の消毒をしている。
45	食事介助中にアイシールドを配布して推奨している。
46	施設内手摺消毒を2回/日実施している。
47	法人負担で抗原検査、PCR検査の実施
48	毎食ごとに高濃度のアルコール除菌剤でテーブルやイスなどを消毒している。
49	特別面会室の設置、スカイプ面会の実施、職員食堂のレイアウト変更、職員更衣室の変更
50	法人負担にて抗原検査、PCR検査の実施
51	①全職員が1日3回、入居者様の食事の終了後にテーブル・椅子のアルコール消毒を実施 ②全職員が毎日共有スペースの廊下の手摺り、窓枠、居室のドアノブなど人の手が触れる箇所のアルコール消毒を実施 ③食堂では、入居者様を半分ごとに分けて距離を取って着席して戴き、更に人との間にパーティションを取り付けて感染予防対策を実施している。④館内のエレベーターの昇降人数を大幅に減らし4人までにして、人との距離を確保している。⑤大浴場では通常2人の洗い場を1人とし、3人の洗い場を2人として、浴場内での人との距離を確保する様にしている。⑥入居者様が館内の居室を出られたら、必ずマスクを着用して戴いている。⑦入居者様には、食事前には必ず検温と手指のアルコール洗浄をして戴いている。⑧外出される際には、必ず外出先を記入して戴いている。
52	法人負担にて抗原検査、PCR検査の実施
53	オンライン面会・窓越し面会
54	来所者検温等健康チェック及びリモート面会
55	従業員の家族の発生状況等も随時報告し、把握している。
56	界面活性剤で手摺等の消毒を毎日行っている
57	新規入職者及び新規入所者にはPCR検査の実施をしている。入所者の退院の際にPCR抗原検査を推奨している。 法人全体で感染対策会議を行い、マニュアル作成等の対策を毎月行っている。
58	出勤前の体調報告の徹底。食堂等・休憩室・更衣室での会食禁止。

前頁の各意見から抽出した感染対策を要素別にカテゴリ分けをし、表にすると下表となる。

最も多いのがゾーニング (選択率 36.1%)、次いで消毒 (選択率 32.8%)、第三位が対人接触回避 ((選択率 21.3%) となっている。

基本的な対策 (標準予防対策、3 密の回避、接触回避、消毒、検査、健康管理等) の強度を高め、より徹底している施設が多いことがうかがえる。

要素項目	度数	選択率	順位
ゾーニング	22	36.1%	1
消毒	20	32.8%	2
対人接触回避	13	21.3%	3
PCR検査	7	11.5%	4
衛生防具	7	11.5%	4
距離制限	7	11.5%	4
検温	5	8.2%	7
情報共有	3	4.9%	8
体調確認	3	4.9%	8
介護体制変換	1	1.6%	10
会話禁止	1	1.6%	10
指針作成	1	1.6%	10
新規入居者制限	1	1.6%	10
計	91		



Q3.PCR 検査の実施状況についてお伺いします

Q3-1 施設従事者を対象としたPCR検査（定期）を実施していますか？

PCR 検査の実施については、128 件（構成比 88.9%）が実施していると回答している。

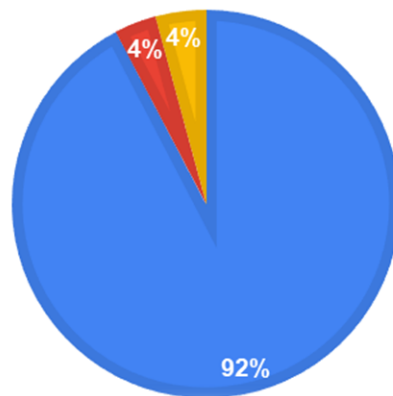
No	項目	回答数	構成比
1	している	128	88.9%
2	していない	5	3.5%
3	検討中	6	4.2%
4	3月に1度実施しましたが、以降はしていません。	1	0.7%
5	県の事業で月/1回PCR検査行っているが6月で終了とは疑問。さらに1週間に1回のPCR検査が必須と考えているも日本財団に問い合わせたところ僻地の施設では片道1時間30分もかけてキットを取りに行かなくては実施できないと言われ断念しました。高齢協の皆様の実態を把握してほしい。	1	0.7%
6	今年の3月に職員全員を対象に1人2回PCR検査を実施しました。	1	0.7%
7	6月から実施	1	0.7%
8	一度行ったが、その後は実施していない	1	0.7%
	計	144	100.0%

これを下表のように再整理すると、「している」「したことがある」「する予定」も含めると133件となり、92.4%となる。

項目	回答数	構成比	備考
している	133	92.4%	1+4+5+6+7+8
していない	5	3.5%	
検討中	6	4.2%	
計	144		

Q3-1 施設従事者へのPCR検査

■ している ■ していない ■ 検討中



Q3-2 新規入居者様の受入れの場合、どのような対応をされていますか？（複数回答可）

右表の各意見を要素別にカテゴリ分けをおこなひ、表にすると右下表のようになる。

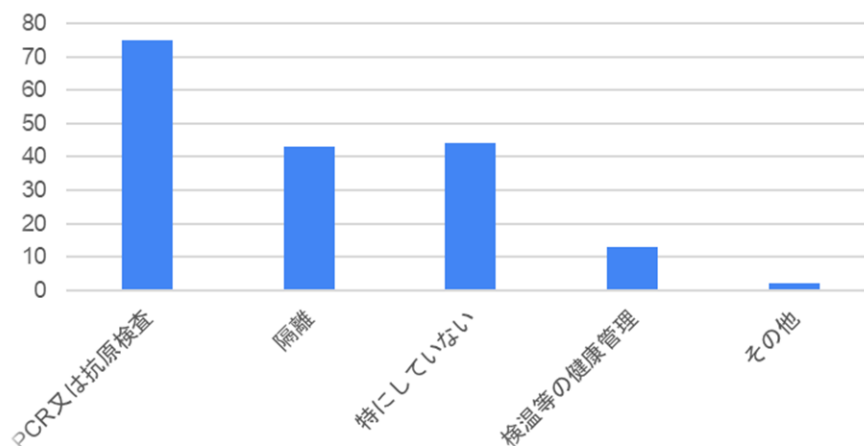
* 文中に複数の要素が重なっている場合もある。

NO	項目	回答数	選択率
1	施設に入居する前にPCR検査等を実施	65	45.1%
2	施設に入居後にPCR検査等を実施	5	3.5%
3	数日間の隔離等を実施（隔離の日数 日間）⇒ Q3-2-(1)へ	38	26.4%
4	特にしていない	43	29.9%
5	熱発等の症状が入所前3日間である場合は検温依頼を行ひる。	1	0.7%
6	14日以前の体温と体調の確認、濃厚接触の有無の確認	1	0.7%
7	隔離は実施してはおりませんが、入居前の状況をお聞きし、感染リスクの低い状態から入居していただくように調整しています。	1	0.7%
8	入所前2週間の健康チェックを実施して頂く	1	0.7%
9	入所前2週間の状態確認、ワクチン接種の確認	1	0.7%
10	特にしていないが、感染状況により実施を検討予定。	1	0.7%
11	事前の情報による確認を行ひ、入居前数日間の検温を依頼している。	1	0.7%
12	入居2週間前の検温(1日3回)・体調の変化確認	1	0.7%
13	入居2週間前の健康チェックを実施して頂く	1	0.7%
14	必要に応じて抗原検査を実施	1	0.7%
15	健康チェック2週間（1日検温3回、酸素濃度測定 朝夜2回）	1	0.7%
16	入所前に抗原検査要	1	0.7%
17	入所日まで朝夕5日間以上の検温のお願い、その他体調や感染可能性の確認	1	0.7%
18	入居前の場所が病院や老人保健施設の場合は、入居前のPCR検査を免除しています。	1	0.7%
19	入居日一週間前より体温計測を行って頂く。	1	0.7%
20	入居前の2週間の検温状態の確認	1	0.7%
21	在宅からの受け入れを行っていない。	1	0.7%
22	事前確認の徹底	1	0.7%
23	担当医、家族等からの情報により、場合によってPCR検査依頼	1	0.7%
24	宣言等がある場合関連施設や関連医療機関のみ受け入れ	1	0.7%
25	PCR検査or抗原検査の実施や、過去14日間程度の検温の実施をお願いしております。	1	0.7%
26	陽性可能性のある方には入所前PCR	1	0.7%
	計	173	

「PCR 検査又は抗原検査」が 75（選択率 52.1%）、次いで、「特にしていない」が 44（選択率 30.6%）、第三位が隔離 43（選択率 29.9%）となっている。

項目要素	度数	選択率
PCR又は抗原検査	75	52.1%
隔離	43	29.9%
特にしていない	44	30.6%
検温等の健康管理	13	9.0%
その他	2	1.4%
計	177	

新規入居者受入対応要素



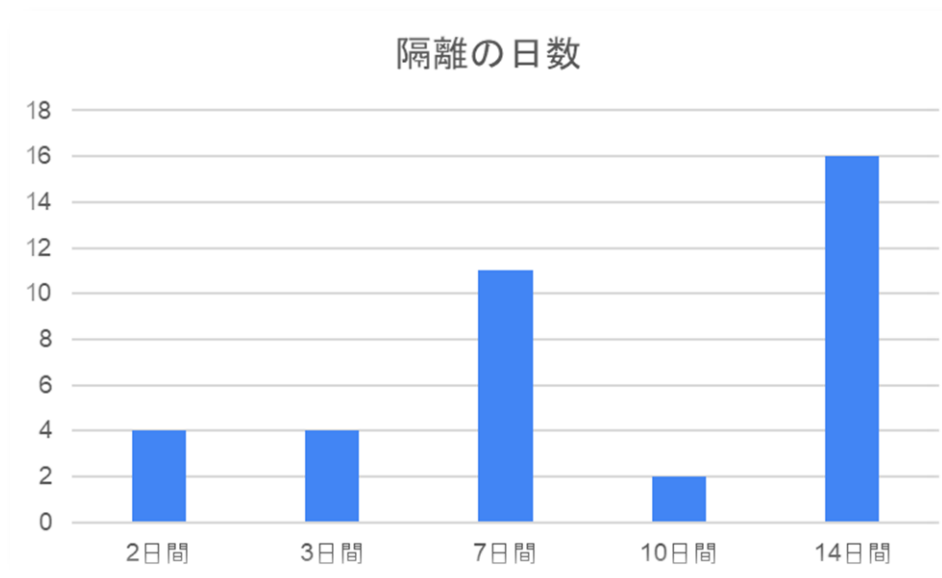
Q3-2-(1) (Q3-2で「数日間の隔離等を実施」とご回答された方にお伺いします) 隔離の日数を教えてください *単位:日

隔離の日数で最も多いのは14日間の16件(構成比43.2%)となっている。

次いで7日間(構成比29.7%)となっている。

次問 Q3-3 の新規採用職員の隔離的対応をしている割合や日数と比べると多い傾向にある。

項目	回答数	構成比
2日間	4	10.8%
3日間	4	10.8%
7日間	11	29.7%
10日間	2	5.4%
14日間	16	43.2%
計	37	100.0%



Q3-3 新規採用職員の入社にあたり、どのような対応をされていますか？（複数回答可）

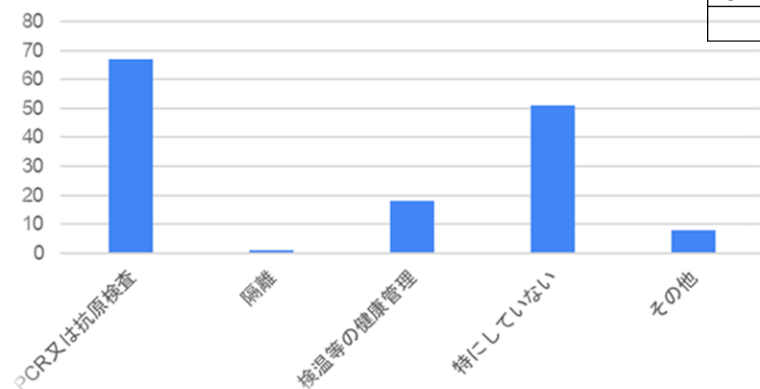
右表の各意見を要素別にカテゴリ分けをおこない、表にすると右下表のようになる。

* 文中に複数の要素が重なっている場合もある。

No	項目	回答数	選択率
1	入社前にPCR検査等を実施	22	15.3%
2	入社後にPCR検査等を実施	35	24.3%
3	数日間、別室での研修や実習等を実施（日数 日間）⇒ Q3-3-(1)へ	1	0.7%
4	特にしていない	51	35.4%
5	入社当日に抗原検査を実施	3	2.1%
6	入社前体調管理（検温等）実施	1	0.7%
7	月に2回のPCRに参加してもらう。必須	1	0.7%
8	14日以前の体温と体調の確認、濃厚接触の有無の確認	1	0.7%
9	採用時に提出いただく健康診断書のみ実施しています。	1	0.7%
10	面接で都市部との恒常的に行き来していることが判明した場合には改善策を求めています。	1	0.7%
11	入所前2週間の状態確認	1	0.7%
12	事前の情報による確認、入居前数日間の検温を依頼している。	1	0.7%
13	入職前1週間の検温・体調の変化報告	1	0.7%
14	出勤時の検温	1	0.7%
15	新規採用がないが入社前に実施予定	1	0.7%
16	該当が無かったため、検討中	1	0.7%
17	入職前に抗原検査要	1	0.7%
18	入社前にPCR検査等を実施、入社日まで朝夕2週間の検温のお願い、その他体調や感染可能性の確認	1	0.7%
19	ここ2年間は新規採用をしていません。	1	0.7%
20	事前の情報による確認、入居前数日間の検温を依頼している。	1	0.7%
21	検温、体調確認、ワクチン接種の有無確認	1	0.7%
22	コロナ発生後の入職者はいない。	1	0.7%
23	月次の職員一斉PCR検査で一緒に実施	1	0.7%
24	健康状態についての申告	1	0.7%
25	入社1週間前からの体温・体調確認	1	0.7%
26	体調確認をする	1	0.7%
27	入社前の健康状態について確認している	1	0.7%
28	入所前2週間分の1日2回の検温と同居家族も含めての健康観察。	1	0.7%
29	体調不良時等の連絡やマニュアルの説明。	1	0.7%
30	既存職員と同じ対応	1	0.7%
31	ご本人からの聴取、場合によってはPCR検査依頼	1	0.7%
32	PCR検査結果確定後に配属事業所内で就業する	1	0.7%
33	新規採用職員なし	1	0.7%
34	ここ2年間は新規職員の募集をしていない。	1	0.7%
35	県のPCRにて実施。	1	0.7%
36	感染症対策についてのオリエンテーション実施。	1	0.7%
37	14日間程度の検温表の提出をお願いしており、毎月の行政の検査に入れております。	1	0.7%
38	入職前の健康管理確認を実施	1	0.7%
	計	145	

「PCR検査又は抗原検査」が67（選択率46.5%）、次いで、「特にしていない」が51（選択率35.4%）、第三位が「検温等の健康管理」18（選択率12.5%）となっている。

職員入社時の対応



項目要素	度数	選択率
PCR又は抗原検査	67	46.5%
隔離	1	0.7%
検温等の健康管理	18	12.5%
特にしていない	51	35.4%
その他	8	5.6%
計	145	

これを新規入居者様の受入れの場合（Q3-2）隔離（選択率29.9%）と比較すると、隔離が大幅に少なくなっている。

Q3-3-(1) (Q3-3で「数日間、別室での研修や実習等を実施」とご回答された方にお伺いします)

隔離の日数を教えてください *単位:日

2件の回答があり、右表のとおり、3日、1日となっており、
前問 Q3-2 と比べると隔離的対応(隔離)の期間が短くなっている。

項目	回答数
3日	1
1日	1
計	2

Q4.コロナ陽性患者の退院後の施設受入れについてお伺いします

Q4 貴施設では受入れをおこないますか？(複数回答可)

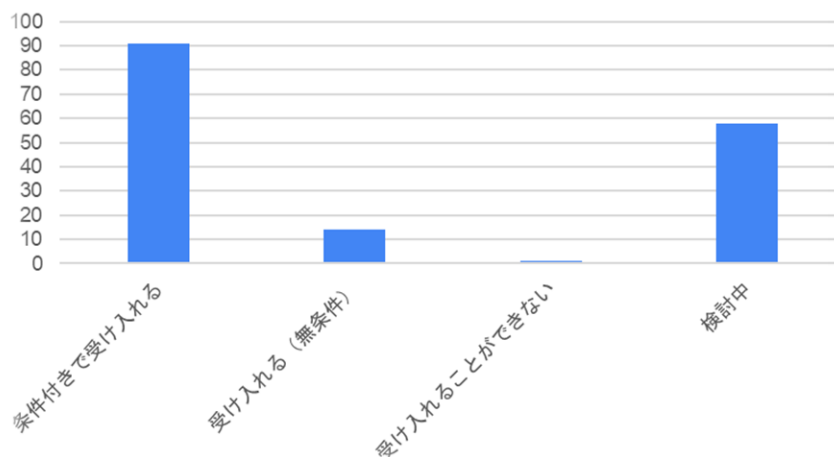
No	項目	回答数	選択率
1	受け入れる(自施設入居者様の場合に限る)	68	47.2%
2	受け入れる(自施設入居者様の場合以外であっても)	14	9.7%
3	条件付きで受け入れる⇒Q4-(1)へ	21	14.6%
4	検討中	58	40.3%
5	受け入れることができない	1	0.7%
6	施設入居者は勿論であるが、他はその時の施設の状況に応じて対応する	1	0.7%
7	自施設入居者の受け入れ実施。他、施設の状況に合わせ対応	1	0.7%
	計	164	

上記表中、No1.3.6.7を「条件付きで受け入れる」と解釈し、この解釈を基に右表のように再整理する。

項目	回答数	選択率	備考(集計番号No)
条件付きで受け入れる	91	63.2%	1+3+6+7
受け入れる(無条件)	14	9.7%	
受け入れることができない	1	0.7%	
検討中	58	40.3%	
計	164		

何らかの「条件付きで受け入れる」(*次頁参照)と「受け入れる」が105件(選択72.9%)となっている。
次いで、検討中が58件(40.3%)となっている。

コロナ陽性患者の受入れ



Q-4-(1) (Q4で「条件付きで受け入れる」とご回答された方にお伺いします) その条件を教えてください

右表の各意見を要素別にカテゴリ分けをおこない、表にすると右下表のようになります。

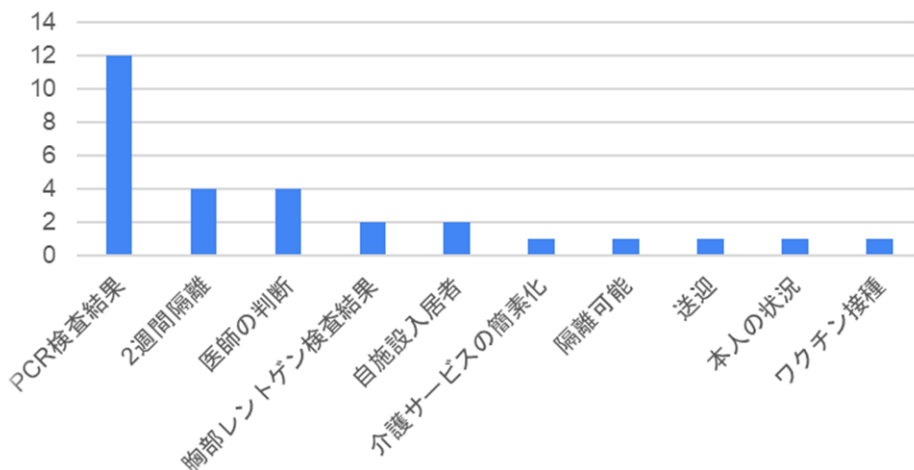
*文中に複数の要素が重なっている場合もある。

1	必ず検査で陰性を確認したい
2	退院前のPCR検査2回の陰性が確認されるならば。
3	協力病院医師の判断を仰ぎ、受け入れ可能と判断された場合
4	主治医、嘱託医の判断による
5	受入れ時の送迎、介護サービスの一部簡素化
6	PCR検査が陰性となり、退院の許可が出ている場合は受け入れます。
7	陽性者であっても、その後の検査において陰性の確認がとれば受け入れる方向です。陰性であっても、発熱等症状が継続している場合は、個室で感染対応を行う場合も想定されます。
8	PCR検査の実施
9	完全陰性が確認できていれば受け入れる
10	症状の軽快、胸部レントゲンの結果等
11	症状の軽快、胸部レントゲンの結果等
12	退院前のPCR検査等で陰性の診断を受ける(出来ない場合は自宅療養の相談)
13	自施設入居者以外の方については、入居前のPCR検査の実施、ワクチン接種を条件とします。
14	主治病院の判断による。
15	隔離措置2週間程度
16	陽性可能性ある場合は入所前PCR
17	その方の状況に応じて
18	自施設入居者様に限りかつ陰性が確認できた場合
19	コロナウイルスが発見されず、発症が認められてから2週間以上経過している事。
20	当分の間(約2週間)隔離を行い、様子を見る
21	約2週間の隔離を行い様子を見る
22	自施設の利用者であること。隔離可能であること。
23	PCR検査で陰性確認の上で受け入れ

「PCR 検査結果」が 12 件 (構成比 41.4%) と最も多く、次いで「2 週間隔離」及び「医師の判断」が 4 件 (13.8%) となっている。

要素項目	度数	構成比	順位
PCR検査結果	12	41.4%	1
2週間隔離	4	13.8%	2
医師の判断	4	13.8%	2
胸部レントゲン検査結果	2	6.9%	4
自施設入居者	2	6.9%	4
介護サービスの簡素化	1	3.4%	6
隔離可能	1	3.4%	6
送迎	1	3.4%	6
本人の状況	1	3.4%	6
ワクチン接種	1	3.4%	6
計	29	100.0%	

コロナ感染者の受入れ条件



Q5.貴施設の面会状況についてお伺いします

Q5-1 (緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の期間中) 面会制限等の対応について (複数回答可)

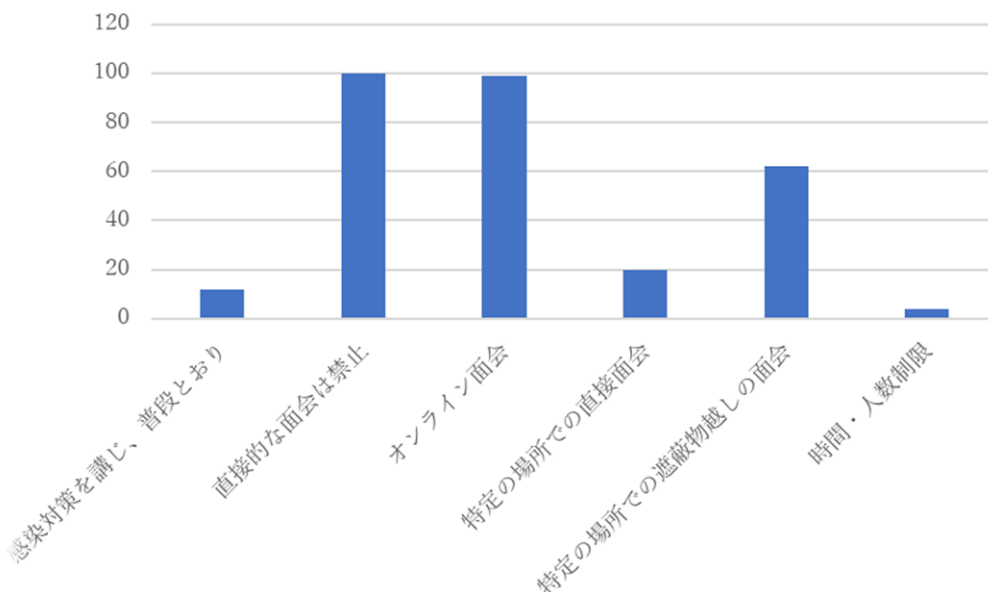
*但し、看取り期等の対応は除く

No	項目	回答数	選択率
1	マスク着用、消毒等の感染症対策を講じて、普段どおりとした	12	8.3%
2	直接的な面会は禁止した	99	68.8%
3	オンラインでの面会をできるようにした	98	68.1%
4	施設内の特定の場所でのみ直接的に面会ができるようにした	20	13.9%
5	施設内の特定の場所で、ガラス越しで面会ができるようにした	56	38.9%
6	10分以内	1	0.7%
7	必要と認めた場合にガラス越しの面会も行っている。	1	0.7%
8	施設内に設けた面会室(ビニールで間仕切り)での面会	1	0.7%
9	面会者1名で5分のみ	1	0.7%
10	看取りの方は1人ずつ家族入室での面会としている	1	0.7%
11	特定の場所で、パーティション越しでの面会	1	0.7%
12	緊急事態宣言中は面会を制限した	1	0.7%
13	会議室でアクリル板越しに面会できるようにした	1	0.7%
14	看取り介護の方は、直接面会を短時間で実施	1	0.7%
15	ご家族からのweb面会が難しい方は施設内の一室を貸し、そこからweb面会	1	0.7%
16	ガラス越しの面会を実施致しましたが、市内、近隣の陽性者の増加があった	1	0.7%
17	施設内の特定の場所で、スクリーン越しで面会ができるようにした	1	0.7%
	計	297	

上表を再整理すると右表となる。
 最も多いのは「直接的な面会禁止」100件 (選択率 69.4%)、次いで「オンライン面会」99件 (選択率 68.8%)、第三位が「特定の場所での遮蔽物越しの面会」62件 (選択率 43.1%) となっている。

項目	回答数	選択率
感染対策を講じ、普段とおり	12	8.3%
直接的な面会は禁止	100	69.4%
オンライン面会	99	68.8%
特定の場所での直接面会	20	13.9%
特定の場所での遮蔽物越しの面会	62	43.1%
時間・人数制限	4	2.8%
計	297	

面会状況



Q5-2 上記設問 (Q5-1) 以外の期間については、いかがですか? (複数回答可)

*但し、看取り期等の対応は除く

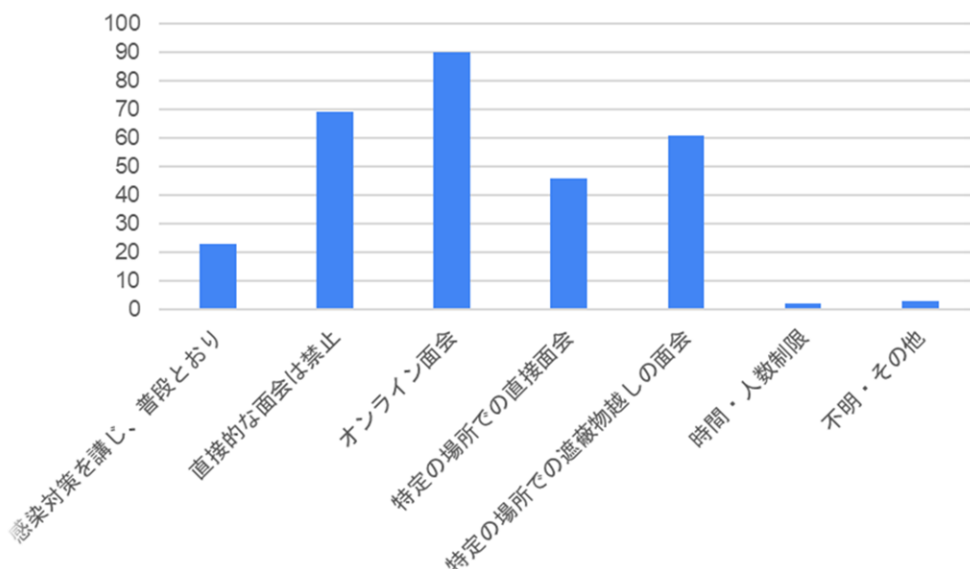
No	項目	回答数	選択率
1	マスク着用、消毒等の感染症対策を講じて、普段どおりとした	20	13.9%
2	直接的な面会は禁止した	69	47.9%
3	オンラインでの面会をできるようにした	88	61.1%
4	施設内の特定の場所でのみ直接的に面会ができるようにした	46	31.9%
5	施設内の特定の場所で、ガラス越しで面会ができるようにした	55	38.2%
6	5-1に同じ	1	0.7%
7	施設内に設けた面会室(ビニールで間仕切り)での面接	1	0.7%
8	施設内の特定の場所でシート越しでの面会を実施	1	0.7%
9	面会者1名で5分のみ	1	0.7%
10	特になし	1	0.7%
11	15分以内の予約制でビニールカーテン越しの面会を実施していた時期もありました。	1	0.7%
12	第一回目の緊急事態宣言下より、変更をしていません。	1	0.7%
13	マスク着用、消毒、検温等をして、短時間の面会ができるようにした	1	0.7%
14	チェックシートに記入してもらい、確認の上面会を許可した。	1	0.7%
15	特定の場所でアクリル板を挟んで時間を限定した	1	0.7%
16	検温、マスク着用、手指消毒、健康状態を確認する	1	0.7%
17	会議室でアクリル板越しに面会できるようにした	1	0.7%
18	面接者の人数、時間の制限をした。	1	0.7%
19	ご家族からのweb面会が難しい方は施設内の一室を貸し、そこからweb面会をして頂いている。	1	0.7%
20	面会は中止とさせて頂いており、オンラインをベースとしておりましたが、現在緩和策を検討中です。	1	0.7%
21	施設内の特定の場所で、スクリーン越しで面会ができるようにした	1	0.7%
	計	294	

上表を再整理すると右表となる。

最も多いのは「オンライン面会」90件 (選択率 62.5%)、次いで「直接的な面会禁止」69件 (選択率 47.9%)、第三位が「特定の場所での遮蔽物越しの面会」61件 (選択率 42.4%) となっている。

項目	回答数	選択率
感染対策を講じ、普段どおり	23	16.0%
直接的な面会は禁止	69	47.9%
オンライン面会	90	62.5%
特定の場所での直接面会	46	31.9%
特定の場所での遮蔽物越しの面会	61	42.4%
時間・人数制限	2	1.4%
不明・その他	3	2.1%
	計	294

緊急事態宣言等以外の期間の面接



右表は、緊急事態宣言等の期間の面接とそれ以外の面会状況について比較したものである。緊急事態宣言等の期間は、「直接的面会禁止」が31件少なくなっており、「特定の場所での直接的面会」が26件増えている。

項目	緊急事態宣言等の期間①	その他の期間②	差異(①-②)
感染対策を講じ、普段とおり	12	23	-11
直接的な面会は禁止	100	69	31
オンライン面会	99	90	9
特定の場所での直接面会	20	46	-26
特定の場所での遮蔽物越しの面会	62	61	1
時間・人数制限	4	2	2
不明・その他	0	3	-3
計	297	294	

Q6. コロナワクチン接種の進捗状況についてお伺いします

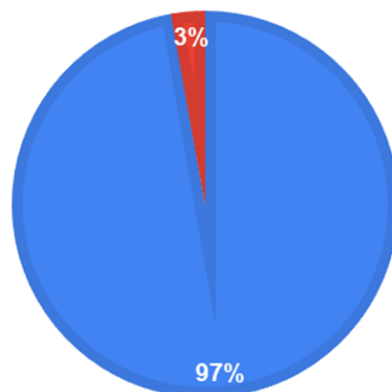
Q6-1 施設入居者様の接種(1回目)は始まりましたか？(予定含む)

ワクチン接種が始まった(予定)が140件と構成比97.2%を占めている。

項目	回答数	構成比
始まった(予定)	140	97.2%
未定	4	2.8%
計	144	100.0%

ワクチン接種

■ 始まった(予定) ⇒ Q6-1-(1)へ ■ 未定



Q6-1-(1) (Q6-1で「始まった(予定)」とご回答された方にお伺いします) 始まった(予定)のはいつですか? 初回接種の年月日を教えてください

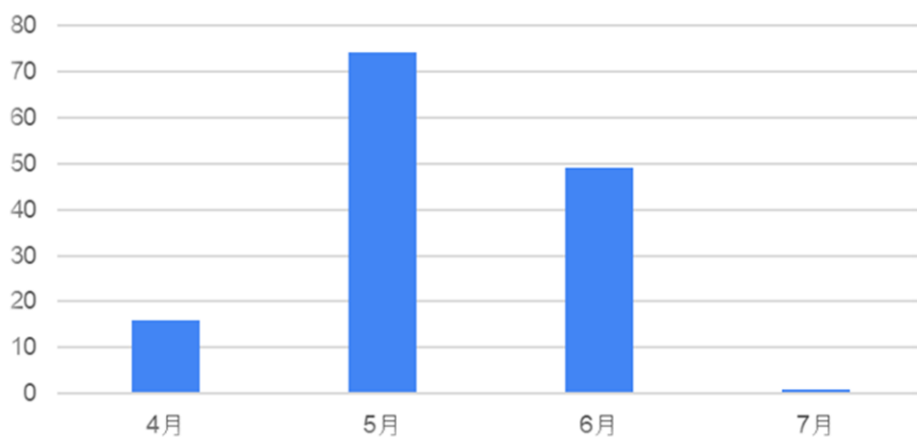
一回目のワクチン接種で最も早いのは4月14日で、最も遅いのが7月6日となっている。



月別のワクチンの初回接種施設数を集計すると下表となる。5月のワクチン接種開始が最も多くなっている。4月末までには11.4%の施設がワクチン接種を開始しており、5月末までには64.3%、6月末までには99.3%の施設がワクチン接種を開始できている。

	4月	5月	6月	7月	8月	計
1回目Q6-1-(1)	16	74	49	1	0	140

ワクチン接種開始状況
Q6-1-(1)



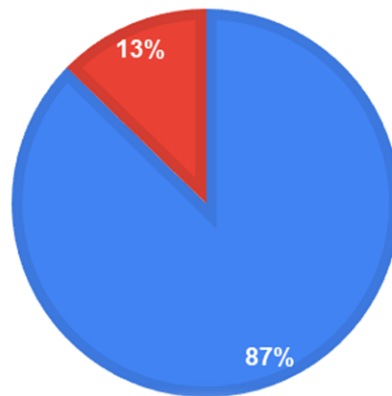
Q6-2 施設入居者様の接種（2回目）の終了（予定含む）はいつですか？

「ワクチン接種終了（予定）を把握している」が124件と構成比87.3%を占めている。

項目	回答数	構成比
2回目の接種終了(予定)を把握している⇒Q6-2-(1)	124	87.3%
未定	18	12.7%
計	142	100.0%

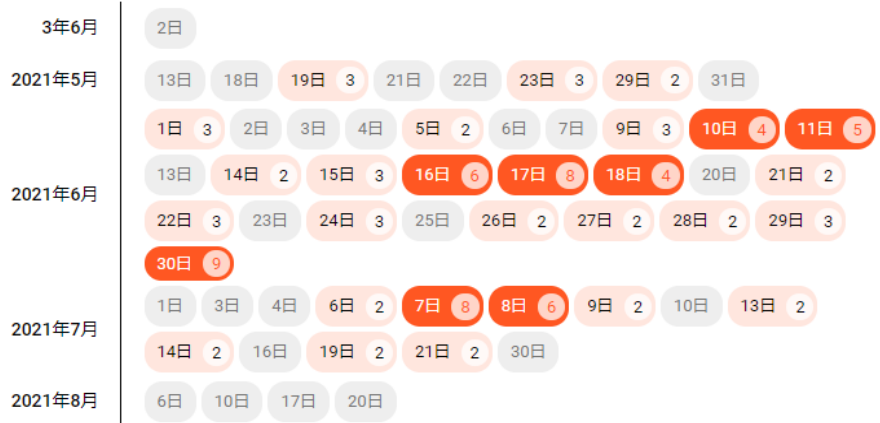
2回目のワクチン接種

■ 2回目の接種終了（予定）を把握している⇒Q6-2-(1) ■ 未定



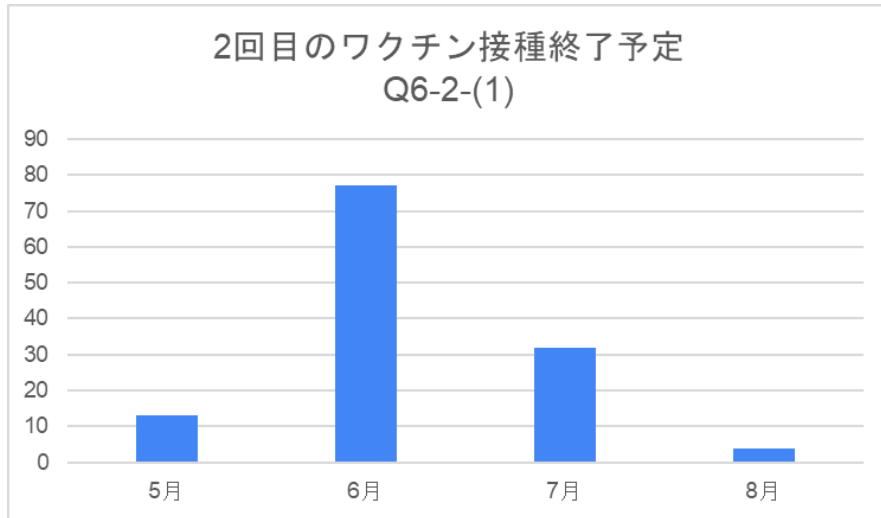
Q6-2-(1) (Q6-2で「2回目の接種終了（予定）を把握している」とご回答された方にお伺いします) 2回目の接種終了（予定）はいつですか？最終接種の年月日を教えてください

2回目のワクチン接種終了するのが最も早いのは5月13日で最も遅いのが8月20日となっています。



月別のワクチンの終了施設数を集計すると以下の表となる。6月のワクチン接種終了が最も多くなっている。5月末までに終了する施設は10.3%、6月末までには71.4%、7月末までには96.8%の施設がワクチン接種を終了する予定となっている。

	5月	6月	7月	8月	計
2回目Q6-2-(1)	13	77	32	4	126

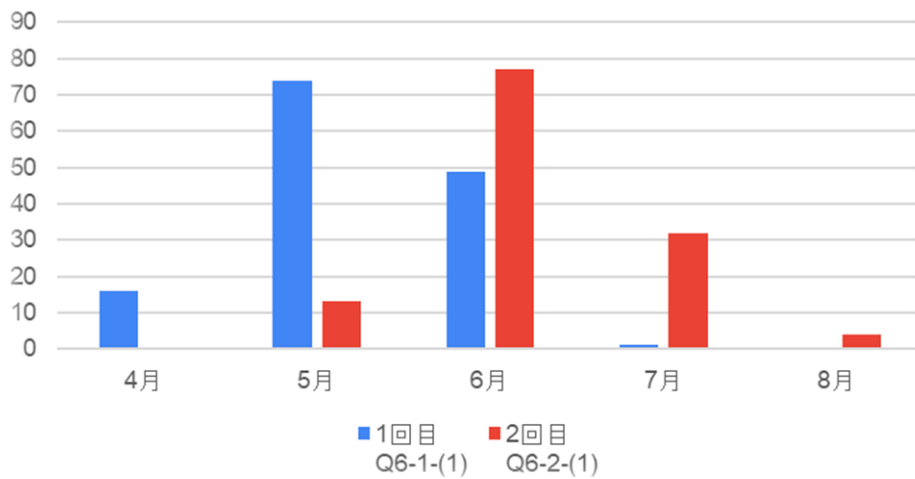


***** 1回目のワクチン接種と2回目のワクチン接種の状況 *****

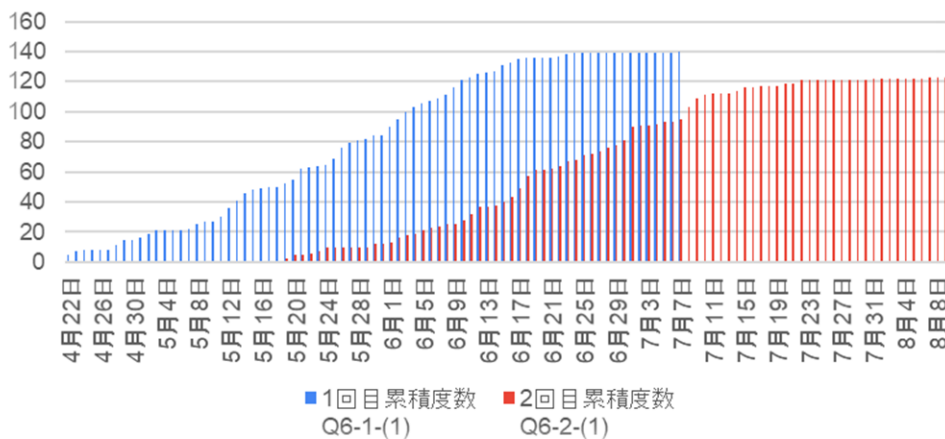
1回目のワクチン接種と2回目のワクチン接種を比較すると以下の表となります。(再掲)

	4月	5月	6月	7月	8月	計
1回目 Q6-1-(1)	16	74	49	1	0	140
2回目 Q6-2-(1)	0	13	77	32	4	126

ワクチン接種状況 (1回目及び2回目)



ワクチン接種累積



Q6-3 入居者様の接種と併せて施設従事者等の同時接種は行われましたか？（予定含む）

No	項目	回答数	構成比
1	おこなっている	113	78.5%
2	おこなっていない	12	8.3%
3	未定	5	3.5%
4	従事者は5/18~20で1回目接種開始	2	1.4%
5	バイアルの余りが出た場合に職員。	1	0.7%
6	ワクチンの余りで職員8名へ接種	1	0.7%
7	入居者の接種前に終了している	1	0.7%
8	余った分だけ	1	0.7%
9	入所者同様に摂取完了	1	0.7%
10	入所者接種前に終了している	1	0.7%
11	入居者様の接種予定分から残った分を従業員数名に接種した	1	0.7%
12	一分の職員について実施している	1	0.7%
13	期間をずらして接種、5月末で完了	1	0.7%
14	利用者の体調不良等で、余った場合にしか同時接種は行えていない。	1	0.7%
15	余ったワクチンを職員に回している	1	0.7%
16	入居者終了時に開始	1	0.7%
	計	144	100.0%

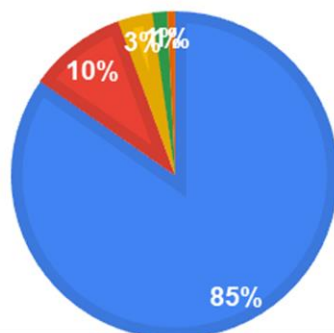
上表を再整理すると下表のとおりとなる。入居者様の接種と併せて施設従事者等の同時接種しているのは122件（構成比84.7%）を占めている。

明確に「おこなっていない」と回答したのは14件（構成比9.7%）である。

項目	回答数	構成比	備考(集計番号No)
おこなっている	122	84.7%	1+4+5+6+8+11+12+14+15
おこなっていない	14	9.7%	2+13+16
未定	5	3.5%	
入居者の接種前に終了している	2	1.4%	7+10
不明	1	0.7%	9
計	144	100.0%	

入居者と従業員のワクチン同時接種

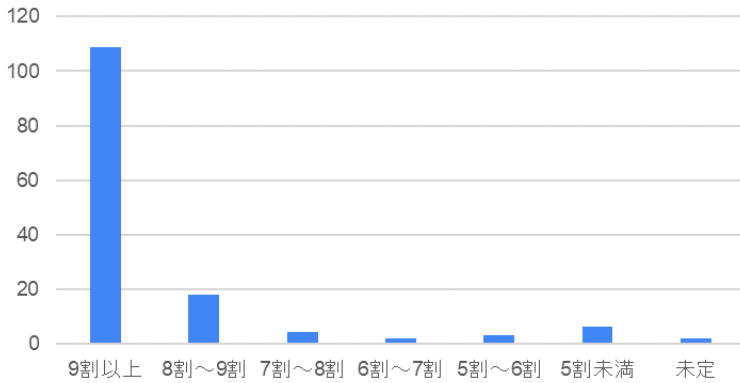
- おこなっている
- おこなっていない
- 未定
- 入居者の接種前に終了している
- 不明



Q6-4-(1) 入居者様のワクチン接種率はどのくらいですか？(予定含む)

入居者のワクチン接種率9割以上の施設が75.7%、
8割以上だと、88.2% (75.7%+12.5%) となる。

入居者のワクチン接種率

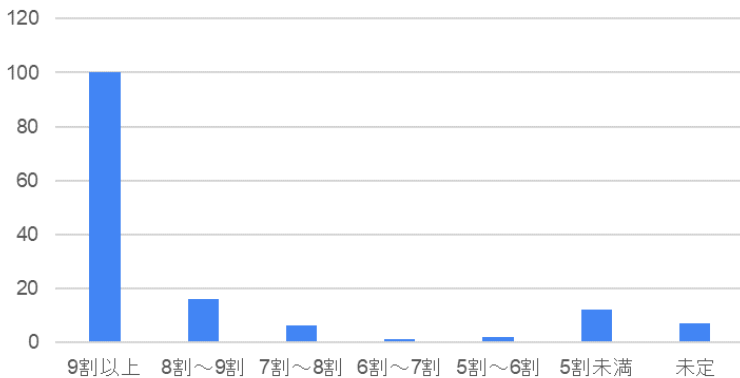


項目	回答数	構成比
9割以上	109	75.7%
8割～9割	18	12.5%
7割～8割	4	2.8%
6割～7割	2	1.4%
5割～6割	3	2.1%
5割未満	6	4.2%
未定	2	1.4%
計	144	100.0%

Q6-4-(2) 施設従事者等のワクチン接種率はどのくらいですか？(予定含む)

施設従事者のワクチン接種率9割以上の施設が69.4%、
8割以上だと、80.5% (69.4%+11.1%) となる。

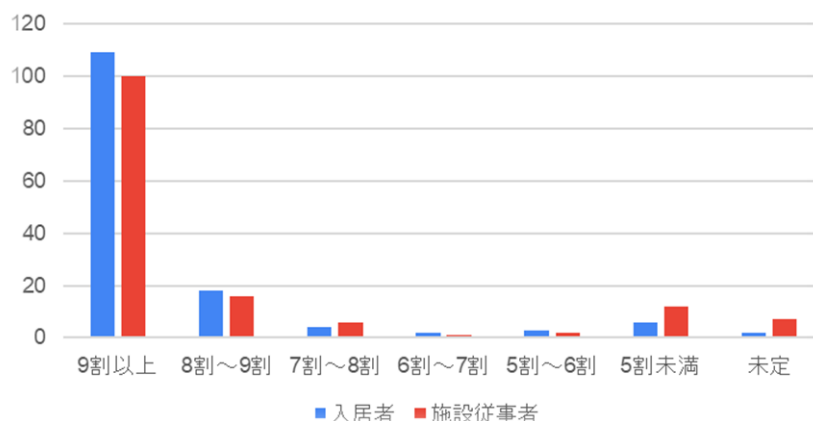
施設従事者のワクチン接種率



項目	回答数	構成比
9割以上	100	69.4%
8割～9割	16	11.1%
7割～8割	6	4.2%
6割～7割	1	0.7%
5割～6割	2	1.4%
5割未満	12	8.3%
未定	7	4.9%
計	144	100.0%

入居者と施設従事者のワクチン接種率を比較すると、施設従事者のワクチン接種率の方が低くなっている。

ワクチン接種率（入居者と施設受持者）



Q6-5 接種実施医療機関についてお伺いします

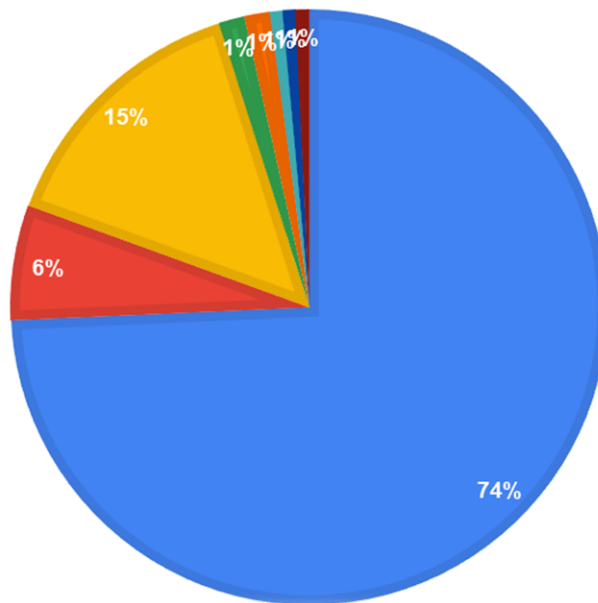
最も多いのは施設の嘱託医が属する医療機関で 107 件 (74.3%) となっている。

一方、20%の施設は、嘱託医以外の医療機関が接種することになっている。

項目	回答数	構成比
施設の嘱託医が属する医療機関	107	74.3%
その他の医療機関(施設側でコーディネート)	9	6.3%
その他の医療機関(自治体側でコーディネート)	21	14.6%
未定	2	1.4%
施設内で接種	2	1.4%
系列の医療機関	1	0.7%
職員は自治体でコーディネート	1	0.7%
サテライト医療機関として登録している	1	0.7%
計	144	100.0%

ワクチン接種実施医療機関

- 施設の嘱託医が属する医療機関
- その他の医療機関(施設側でコーディネート)
- その他の医療機関(自治体側でコーディネート)
- 未定
- 施設内で接種
- 系列の医療機関
- 職員は自治体でコーディネート
- サテライト医療機関として登録している



Q6-6 施設従事者等の接種後の副反応が生じた際の休暇についてお伺いします

最も多いのは年次有給休暇 86 件 (59.7%)、次いで未定が 28 件 (19.4%)、特別休暇は 18 件 (12.5%) となっている。

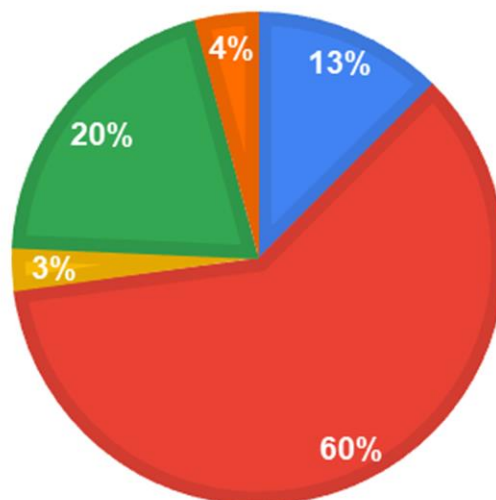
No	項目	回答数	構成比
1	特別休暇	18	12.5%
2	年次有給休暇	86	59.7%
3	病欠	4	2.8%
4	未定	28	19.4%
5	可能であれば有給処理希望だが、未取得者も含めて検討中	1	0.7%
6	接種翌日は出来る限り公休とした、	1	0.7%
7	基本は、接種の翌日を公休にした。	1	0.7%
8	シフト調整で休日に	1	0.7%
9	副反応を見越して接種日から3日間の連日公休	1	0.7%
10	勤務調整にて通常休暇を接種予定日の翌日に取って頂くスケジュールにしている	1	0.7%
11	勤務表作成時に公休を事前に組み込む	1	0.7%
12	年次休暇または、公休。	1	0.7%
	計	144	100.0%

上表を再整理すると下の表になる。公休で対応するのは、6 件 (4.2%) となっている。

No	項目	回答数	構成比	備考(集計番号No)
1	特別休暇	18	12.5%	
2	年次有給休暇	87	60.4%	2+12
3	病欠	4	2.8%	
4	未定	29	20.1%	4+5
5	公休	6	4.2%	6+7+8+9+10+11
	計	144	100.0%	

施設従事者等の接種後の副反応への対応

■ 特別休暇 ■ 年次有給休暇 ■ 病欠 ■ 未定 ■ 公休



Q7.自由記載

1	新型コロナウイルスワクチン2回接種後に感染対策の段階的緩和が可能なのか他施設の事例を参考にしたい
2	施設にて感染者が出た場合の入院が出来る体制を整えてほしい。
3	今回の回答は特養についてのみです。
4	応援職員の派遣事業にスピード感が加わるとともに安心感につながると思います。
5	職員の為の毎月の行政によるPCRや抗原検査は大変ありがたく、クラスターを予防するのにうってつけの対策だと思われます。結果を毎月の便りでご家族に報告しており、家族も安心されている事と思います。ですが検査日が1日と限られるため、職員にはお休みのところ出てきてもらっております。そのうち慣れてしまう事で受けない職員が増えてしまう事が懸念材料としてあります。検査日がもう少し選択肢があると無理なく実施できる場所があります。
6	①今年度は予防接種も含めてこの時期に行ったが、来年以降も継続して予防接種等行うことになるのか。(2回目の接種でご入居者の一部に翌日午後熱発者が複数出て、夜勤対応業務に負担がかかった。)②今のところ感染者は出ていないが、毎年この緊張感を持ちながらのケアは勤務時はもちろん、プライベートの自粛等で職員の負担が大きすぎる。
7	予防対策を万全にし利用者・家族共に不安のない日常を作る。職員に対する福利厚生も充実させる。
8	感染予防に関する備品の購入が継続するものと思います。経営も厳しい現況に今後どうすべきか、悩んでいます。出来れば、定期的に補助金があると助かります。
9	ワクチン2回目接種を終えた施設は以前のような運営ができるのか否か。いつまでコロナ対策を続けるのか目途を示してほしい。
10	・通常の高齢者以外のワクチン接種がいつになるのかわからない中、各自治体によって、従事者への同時接種の方針が異なっており、他市にある同法人の施設に比べ、従事者接種が進んでいないことに不安を感じている。 ・他施設の感染症対策や、職員体調不良時のマニュアル等の事例を知りたい。
11	新型コロナワクチン接種を入所者、従事者ともに行いその後どのように普段通りにするか若しくはどのようにしていくかが課題なのでサポートが欲しいです。
12	施設内だけで対策を頑張ってみたところで、職員やご家族は施設外での行動を様々にしている以上、万全であると言えるのは全国民がワクチン接種して、その後のコロナの動向がどうなっていくかが見えてこない、安心できる状態にはならないのかなと感じています。 引き続き情報収集を怠らず、ベターな選択をしながらコロナ対策を続けていかなければと思っています。
13	・千葉県の「応援職員の派遣」に登録している職員はいるが、職員不足等の理由により、要請があったとしても、なかなか派遣することが出来ない。 ・通常面会を再開する際の基準等があれば、教えて欲しい。
14	・ワクチン接種率が世間で広まった後の面会再開のタイミング等 ・今後のコロナ感染時の対応がどう変化していくのか?不明、不安。
15	市内の特養同士でのコロナ発生施設のノウハウの共有、情報連絡などほとんどなく、驚きました。例えばクラスター発生施設での経験談など共有化して、参考になる部分が多いはずだが、なくて大変残念でした。当施設に連絡が入っていない可能性もありますが、全施設で共有するぐらいの対応を考えてほしかったです。 先日東京の特養様のクラスター経験談で1時間の視聴研修に参加させていただきましたが、具体的な話で、経験した施設でしか話せない内容が多く、勉強になりました。
16	当施設では、特養入居者のワクチン接種より、職員は優先して、先に行っています。6月2日より5日(回)に分けて、始まりました。6月11日が、1回目の最終回の予定となっています。居宅介護支援、デイサービス、包括支援センター職員は、接種対象に入れてもらえませんでした。
17	職員の休暇については有休の発生していない方については特別休暇としている
18	集団感染が起きて約2カ月近く一日通所や短期入所サービスを休止して法人内部での応援体制で対処することができました。感染者の人数にもよりますが、日々状況が変わっていく中では、応援職員の派遣はより混乱してしまうのではないかと感じそのような非常時体制で乗り切りました。今振り返ると、応援を求めた方が良かったのか、施設長としてかなり悩んだところがあります。
19	職員に対して、福祉関係従事者であることのメッセージを定期的に発信しています。
20	今後、施設内でのワクチン接種が終了し、面会や入居者との関わりをどのように広げて行ったら良いか?悩むところです。
21	副反応の発生率(37.5℃以上の発熱)がおそらく25%以上、現在調査中ですがかなりの人数に上ります。ある程度の予測はしていたものの正直戸惑いました。 騒ぐと接種率が下がるのかもしれませんが、よくマスクが黙っているなどと思います。 病院に一般の予約が殺到し、対応のため社会福祉法人から看護師等の職員の派遣を毎日行っています。
22	PCR検査の実施を促進し、早期のワクチン接種を行うことが必須である。
23	ニトリルグローブの価格高騰が懸念される
24	終息を切に願っています
25	施設職員全員の予防接種を実施したい。(現状は入所者が打ち終わった残りの分を職員に接種している※習志野市の方針による)
26	早期の感染症対策を施設内で取り組んだことで職員の安心や仕事に来る心得にも繋がった。
27	ワクチン接種が進んできて、感染者が少なくなることを期待したいところですがいつになることかと思いますが…。施設で行える感染症対策は、徹底して行っていく。万が一クラスターが発生した時の対応について保健所の指導もあると思うが、まだ不安が残る。様々なパターンのシミュレーションを考えていかなければならないと思うが、大まかにしか出来ていないので今後の課題である。 また、クラスターが発生した時の職員の協力体制にも少し不安がある。感染したくないからと出勤を控えてしまう事がないか心配なところである。
28	ワクチン接種後が入居者、従業者共に終了後、制限していることについて、どこまで緩和していくのか見極めが難しい。
29	ワクチン接種終了後、入居者に対して、感染者が出ている地域や繁華街等への外出やその他制限していることに対して解除するタイミングが課題。
30	「応援職員の派遣」施設内でクラスター発生時においては是非でも要請したいと思います。その際はグリーンゾーンでの勤務となります。さらに職員の派遣で言えば先に述べた日本財団のPCR検査キットの取り寄せおよび、検体の提出の代行など平時においても協力いただきたいことはたくさんあります。
31	今後もコロナウイルスの感染がおこらないように、消毒の徹底を図り、注意を喚起して行く。
32	①今後も全職員がコロナウイルスが終息するまで、しっかりと消毒や清掃を継続して行く。 ②市役所や県庁との連絡を密にして、報告・連絡・相談をしっかりと継続する。
33	PCR検査については現在、千葉県高齢者福祉課からの検査のみで今月いっぱい終了予定です。これからも、PCR検査を続けて欲しいと思います。
34	ワクチン接種は2回終わったが、職員のPCR検査はいつまで行うべきか(現在、毎週1回実施している。)

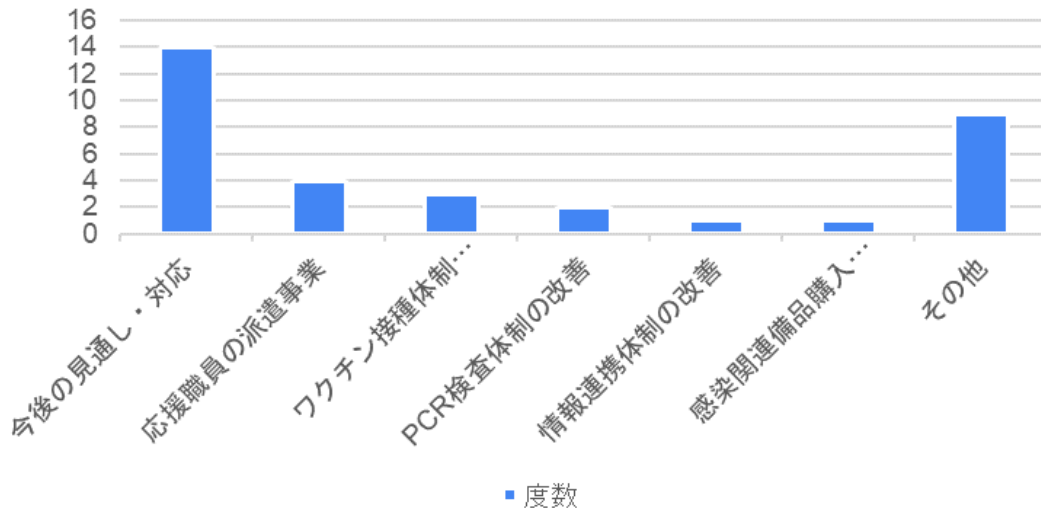
前頁の自由記載を要素別にカテゴリ分けを表にすると下表となる。

もっとも言及されている要素は「今後の、見通し・対応」についてで、15件(39.5%)。

次いで、「応援職員の派遣事業」(13.2%)、第三位が「ワクチン接種体制の改善」(7.9%)となっている。

要素項目	度数	構成比	順位
今後の見通し・対応	15	39.5%	1
応援職員の派遣事業	5	13.2%	3
ワクチン接種体制の改善	3	7.9%	4
PCR検査体制の改善	2	5.3%	5
情報連携体制の改善	1	2.6%	6
感染関連備品購入補助	1	2.6%	6
その他	11	28.9%	2
計	38	100.0%	

自由記載 (要素)



3. まとめ (結果)

回答施設の 23%に新型コロナウイルス陽性者の発生が確認され、更にその 30%にクラスターが発生していました。感染 1 人目の 80%が施設従事者からであることから、施設内での感染を防ぐには、**改めて職員の日ごろからの感染対策、健康管理、3密の回避、PCR検査等の取組みが重要であると言えます。**

施設における感染対策については、Q2における例示や自由記載欄をご参照いただき、自施設の対応を顧みるきっかけとしていただきたい。アンケートから見られた感染対策の POINT は、やはり基本的な対策(標準予防対策、3密の回避、接触回避、消毒、検査、健康管理等)に高い類似性があることから、一つひとつの基本対策の精度と強度を高めていくことを優先的に重要視している様子が見えました。

PCR検査については、会員施設の 90%以上が実施している(したことがある)ことが確認されましたが、母数が少ないため、必ずしも全体の傾向を示していないことには、留意が必要と考えられます。

新規入居者様の受入れには慎重な対応が伺えますが、比して新規採用職員の入社については、その対応の割合が低いことは、今後の課題と言えるのかもしれません。

コロナ陽性患者の退院後の施設受入れについては、社会的課題の1つではありますが、70%以上の施設が受入れを行う(条件付き含め)と表明しています。

面会状況については、オンライン面会、特定の場所での面会などが幅広く行われる等、各施設の工夫と努力が見られますが、緊急事態宣言等の発令の有無、地域の感染状況を踏まえた上で、ケアの質や顧客満足、感染防止等のバランスを考慮して、慎重な判断が求められるところです。

コロナワクチンについては、早い施設では4月～接種が始まり、多くの施設が概ね7月末までに2回の接種の終了が見込まれています。接種率については、施設により多少のばらつきが見られました。接種率80%未満であった施設は、入居者様で10%、施設従事者等では15%ありました。

自由記載欄には、37件の記載があり、分類をすると「今後の見通しや対応」に不安がある等の記載が40%ほどを占めていました。この自由記載もぜひお目通しいただき、施設内・外における課題の共有をとおして、今後の解決にむけた足がかりにさせていただけることが期待されるものです。

4. アンケートの公表にあたって(お知らせ)

- Googleフォームを利用したアンケートであったことや感染対策期間中の限られた期間(10日間)であったこと等から、回答数が多くなく(母数が少ない)、必ずしも全体的な傾向を正しく表しているものではないことに留意する必要があること。
- アンケート結果は、Googleフォーム(WE B上：<https://forms.gle/4bmD4oqpdh711pKW6>)と紙面(高齢協HPからダウンロード)の2つの方法で閲覧できるようにしてあること。
- アンケート結果(紙面)については、アンケート回答で「その他」の回答が多くありましたので、要素別に分類をさせていただき、再整理をしていること。集計結果として分かり易くお伝えするための処置としてご了承ください。
- 本アンケートの収穫は、自施設の実態が他施設との比較の中でどの位置関係にあるのかを明らかにすることで、それぞれの施設における課題抽出と今後の対応策の手掛かりにさせていただき、情報提供にあることにご理解をお願いします。(このような比較情報がなかったため)
- アンケートは実態調査であり、その実態と効果の関連性を評価・検証することまでは困難であり、感染症対策のある種の規範的な取組内容を提案する根拠抽出を得ることまでは出来ていないこと。
- アンケートの内容については、既に厚労省をはじめ、公に示されている対応策に準じて、それらの精度と強度を高める取組みが多くを占めていたことから、**改めて、標準予防対策をはじめとした対応、3密の回避、コンタクト時間の短縮、消毒、PCR検査体制の構築、健康管理などの徹底の重要性を各施設においても再確認していただきたいこと。**
- アンケートの設問内容が一部分かりづらく、回答に迷われたと思われる記載が散見されました。お詫び申し上げますとともに、アンケートにご協力をいただきましたことへのお礼を申し上げます。

2021年6月29日

アンケートとりまとめ

一社) 千葉県高齢者福祉施設協会「感染症対策特命チーム」